

## 取扱説明書

パール缶・グリース・ポンプ 品番：#37143 型式：APG20C

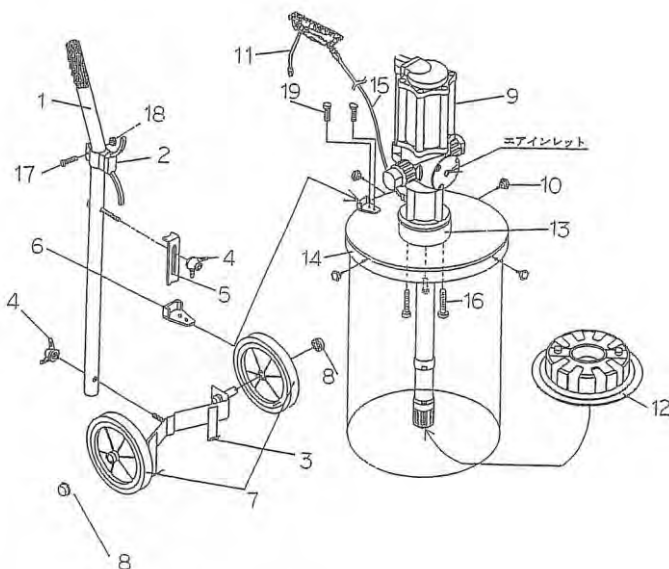
## 1, 使用前の準備

- ①本機とコンプレッサーの間に、エアフィルター・レギュレーターを取り付けて下さい。
- ②エアインレットに、ゴムホースを取り付け、クイックカプラを取り付けて下さい。

## 2, 組立方法

- ①3, ホイールフレームのネジを1, ハンドルの丸穴に挿入し、4, 蝶ナットを時計回転方向に回して確実に固定して下さい。
- ②1, ハンドルに2, ホルダーを取り付け、2, ホルダーの穴に17, ネジを通し、18, ナットを時計回転方向に回して締め付けて下さい。
- ③1, ハンドルの埋め込みボルトに5, 調整プレートを通し、4, 蝶ナットを時計回転方向に軽く回して下さい。
- ④6, フックの2ヶ所の穴を、14, 蓋の穴に位置を合わせて、19, ネジ2本を時計回転方向に回して、確実に固定して下さい。
- ⑤9, ポンプの下から13, スペーサーを挿入し、続いて14, 蓋を挿入して下さい。3ヶ所の穴の位置を合わせて、14, 蓋の裏面から、16, 六角ネジを3本使用して、時計回転方向に回して確実に締め付けて下さい。
- ⑥15, ホースの両端のプラグにシールテープを巻き、時計回転方向に回して11, ガンと9, ポンプに確実に接続して下さい。
- ⑦9, ポンプのエアインレットに、シールテープを巻いたカプラプラグを時計回転方向に回して、確実に締め付けて下さい。
- ⑧12, 錘りフタの2ヶ所のキャップを反時計回転方向に回して取り外し、中に水、砂等を入れて下さい。投入後は、キャップを時計回転方向に回して確実に締め付けて下さい。
- ⑨グリースの入ったパール缶に12, 錘りフタを載せ、軽く押えて下さい。
- ⑩12, 錘りフタの中央の穴に9, ポンプを奥まで挿入して下さい。
- ⑪使用するパール缶の縁に、14, 蓋をセットし、4箇所10, 止めハンドルを時計回転方向に回して締め付け、パール缶と本機を固定して下さい。
- ⑫キャリアーにパール缶を取り付け時は、5, 調整プレートが④で付けた6, フックの中心にくる様にして、3, ホイールフレームの爪にパール缶を載せ、5, 調整プレートを6, フックに引っ掛けて、4, 蝶ナットを時計回転方向に回して固定して下さい。
- ⑬コンプレッサーと本機を接続して下さい。**接続後は自動的にポンプが作動します。**

## 3, 分解図



1	ハンドル	5	調整プレート	9	ポンプ	13	スペーサー	17	ネジ
2	ホルダー	6	フック	10	止めハンドル	14	蓋	18	ナット
3	ホイールフレーム	7	ホイール	11	ガン	15	ホース	19	ネジ
4	蝶ナット	8	ホイールキャップ	12	錘りフタ	16	六角ネジ		

## 4, 使用方法

- ①11, ガンのレバーを握るとグリースがガンの先端から吐出します。グリースニップル等に接続して使用して下さい。
- ②使用しない時は、エアコンプレッサーから本機を取り外し、11, ガン、15, ホースを2, ホルダーに掛けて保管して下さい。

## 5, 注意事項

**△注意** (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。)

- ①本機の使用可能グリースは、**モリブデングリース、シャシーグリース、ベアリンググリース**で、**稠度は#1、#2**です。それ以外のグリース、稠度のグリースには使用出来ません。
- ②本機の使用空気圧は**588~784kPa (6~8kg/cm<sup>2</sup>)**です。それ以外の空気圧では使用しないで下さい。
- ③本機の分解、修理、改造をしないで下さい。本来の能力を発揮出来なくなります。
- ④本機は**16kg**の**パール缶専用**です。その他のサイズのパール缶には使用出来ません。
- ⑤ボルト、ナット、カブラー等の締結を定期的に確認して下さい。
- ⑥本機に破損箇所、異常がある場合は直ちに使用を中止して下さい。
- ⑦使用後は本機に付着したグリースを確実に拭き取って下さい。変色する恐れがあります。
- ⑧本機を使用する際は、平らな面で使用し、傾斜面、軟弱地では使用しないで下さい。
- ⑨本機は、**エアの力でグリースを吐出する機器**です。その他の用途には使用しないで下さい。
- ⑩本機のキャリアーを使用して、パール缶以外の物を運搬しないで下さい。
- ⑪ガン先端をグリースニップルに強く押し込み過ぎたり、斜めに押し込まないで下さい。
- ⑫**ガンを人に向けて使用しない**で下さい。